

令和5年
3月号

感染症情報

梅毒患者が過去最多

都内の梅毒の感染者数は10年前と比べ全体で10倍以上、女性だけで比較してみると約40倍に急増しています。年齢別では、男性は20代から50代、女性は20代が多くを占めています。

梅毒に感染すると、体に発疹が出たり、しこりや潰瘍ができたりしますが、症状が出ない人や、すぐに消えてしまう人もいます。

大切な人を守るためにも、梅毒が疑われる症状のある方や心配な時は、検査を受けるようにしましょう。

東京都の臨時検査が、新宿で3月(22・23日男性対象、24日女性対象)にあります。

電話(050-3646-0101)で予約を受付けています

3月13日以降の考え方について

マスク着用は 個人の判断が基本となります

<着用が効果的な場面> マスクの着用を推奨

- ・医療機関を受診する時
- ・症状があるとき時(発熱等の症状がある方は、外出を控えてください)
- ・高齢者など重症化リスクの高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設などへ訪問する時
- ・通勤ラッシュ時など、混雑した電車やバスに乗車する時

- ・個人の判断が基本です(本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、ご配慮をお願いします)
- ・施設の管理者等からマスク着用を呼びかけられた際は、ご協力をお願いします

<問合せ> 荒川区保健所保健予防課感染症予防係

03(3802)3111 内線 430



【感染症発生情報(毎週更新)】

荒川区ホームページ トップページ→保健・衛生・医療→感染症情報・対策

